

みよし風土記の丘ミュージアム 12・1月の行事案内

令和7年春の收藏資料展

「春を待つ三次人形とひな人形」

当館では、開館以来、広島県北部に関係する考古・歴史・民俗資料を数多く収集してきました。

本展では、これらの収集資料の内、三次の春を彩る三次人形やひな人形を展示します。



当館蔵 三次人形 天神 (左:宮の峽、右:十日市)

- 1 会 期 令和7年1月24日(金)～3月30日(日)
休館日 月曜日(ただし、2月24日は開館)、2月25日(火)
- 2 会 場 みよし風土記の丘ミュージアム 企画展示室(三次市小田幸町122)
- 3 展 示 資 料 当館所蔵の三次人形、ひな人形
- 4 入 館 料 常設展の入館料で御覧いただけます。
一般200(160)円、大学生150(120)円、高校生以下・65歳以上無料
※()内は20名以上の団体料金

風土記の丘ギャラリー

「暮らしと道具のうつりかわり」

「おもちゃ」の語源は、平安時代の「もてあそぶ（手に持って遊ぶ）」行為で、室町時代に「もちあそぶもの」から生まれたとされています。おもちゃを使う遊びは、子どもたちにとって楽しい時間であると同時に、体験を通してさまざまなことを学ぶ機会でもあります。

本展では、戦後のおもちゃを中心に、その種類や遊び方を振り返り、子どもたちが遊びから何を学んでいたのかを考えます。



戦後に使われたおもちゃたち
(当館蔵)

- 1 会 期 11月1日（金）～12月27日（金）
休館日：月曜日
- 2 会 場 みよし風土記の丘ミュージアム 風土記の丘ギャラリー
（三次市小田幸町122）
- 3 展 示 資 料 戦後の時期のおもちゃ約70点
- 4 入 館 料 常設展の入館料で御覧いただけます。
一般200（160）円、大学生150（120）円、高校生以下・65歳以上無料
※（ ）内は20人以上の団体料金
- 5 展 示 解 説 会 12月7日（土）14：00～14：30

令和6年度 歴風トーク

当館学芸員等が、日頃から調査・研究している、考古・歴史・民俗などに関する様々な話題を提供します。

第1回 演題『三次での発掘調査の思い出ー古墓だと思ったら古墳だった話ー』

日 時： 12月15日（日）

話題提供者： 当館 学芸課長 西村直城

第2回 演題『庄原市の前方後円墳について』

日 時： 令和7年1月26日（日）

話題提供者： 庄原市教育委員会生涯学習課 主事 藤本隼也

◆イベント申込み用電子申請フォーム一覧

○歴風トーク



◆公式Xについて

みよし風土記の丘ミュージアムでは、展示やイベント、体験教室といった様々な活動や所蔵資料の魅力などを発信するためにXを使用しています。

ぜひ、フォローして御覧ください。(https://x.com/hiroshima_prms)